

# ピースワンコ NEWS

ピースワンコ・ジャパンは支持してくださる多くの方々とともに、  
殺処分機の最後の1台を止めるまで活動を続けます。

Vol.16



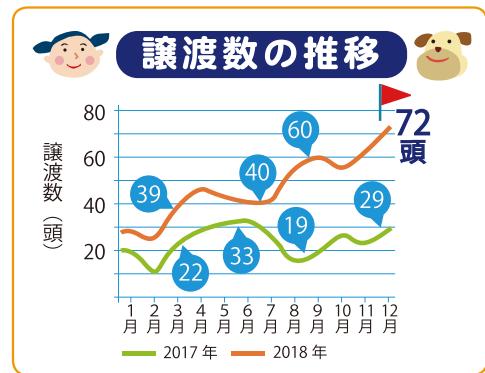
## 殺処分ゼロ継続1000日を達成、次の1000日へむけて

いつも「ピースワンコ・ジャパン」プロジェクトにあたかいご支援をいただき、ありがとうございます。昨年は、様々な出来事がありましたが、スタッフ一同、ワンコたちを守るために必死に頑張った一年でした。会員の皆さんからはあたかい励ましのお言葉をいただき、感謝申し上げます。

2016年4月から続いている広島県の犬の「殺処分ゼロ」が、昨年末12月26日で1000日になりました。この間、私たちは、広島県内の動物愛護センターから、殺処分されることになった犬たちをすべて引き取り、彼らの命を守る「最後の砦」の役割を果たしてきました。継続1000日の達成は、さまざまな形でピースワンコ・ジャパンの活動を支えてくださいました、すべての支援者の皆さんのおかげです。心より御礼を申し上げます。

一方で、愛護センターで殺処分対象となる犬は依然として多く、シェルターの受け入れも限界に近づいています。1000日間、がむしゃらに「全頭引き取り」を続けてきましたが、よりよい飼育環境を確保しながら、次の1000日も殺処分ゼロを維持するためには、新たなモデルの取り組みが必要です。私たちは、県や他の保護団体などにあらためて協力を要請し、野犬や飼育放棄の犬を減らす対策を含めて、みんなの力を合わせて殺処分を防ぐ体制づくりを進めていきたいと考えています。

おかげさまで、これまでのピースワンコの譲渡・返還数は1400頭を超えるました。1頭でも多くの命をまもるために、今年も正念場が続きます。皆様のご支援が2700頭のワンコたちと、現場で世話ををするスタッフの励みになります。引き続き、皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。



## ご報告 岡山譲渡センターがオープンしました！

神石高原シェルターを含めると8ヶ所目となる岡山譲渡センターが11月1日にオープンしました！岡山駅から車で10分ほどの閑静な住宅街の一角です。すぐ近くには公園や中学校があり、学校帰りの子どもたちが、寄り道してワンコたちを見に来てくれます。1月20日現在、成犬7頭、子犬5頭がいて、施設内には広いセミナールームもあります。12月24日には初めての譲渡会を開催。オープン前からワンコに会うのを楽しみに待ってくれるお客様もいて、大賑わいでました。店長の西坂も



他のスタッフも、これまで人に飼われている犬しか接していなかったので、人に馴れていないビビリの野犬のお世話は初めての経験、最初は戸惑ったそうです。でも毎日一緒に過ごすうちに、コミュニケーションが取れるようになり、初めてのワンコの卒業時にはすっかり寂しくなってしまったそう。これからはイベントを開催したり、PRに力を入れてもっと多くの人にセンターの存在を知ってもらえるように頑張っていきます。お近くの皆さん、ぜひお立ち寄りください。



ずっとワンコと過ごすことが  
出来る楽しい仕事です！

# ご支援ありがとうございます！

シェルターマネージャー・安倍誠

2016年4月に広島県で殺処分になる犬をすべて引き取るという前代未聞のチャレンジがはじまりました。1000日間を振り返ると、言葉では語り尽くせないほど様々な出来事がありました。

初回の引き出しのことは昨日のことのように記憶しています。2016年4月5日、愛護センターに行ってみると、30頭以上の犬たちが待ち受けていました。私たちが引き取るのは「殺処分対象犬」です。野犬、病気持ち、高齢犬、大きな外傷を負っている犬、人を噛んだ犬…大半の犬が何かしらの問題を抱えていました。引き出し後、施設へ連れて帰り、一頭一頭すべての犬に名前を付け、検査や治療を行い、初日を終えました。気付けば24時を回り、日付が変わっていました。



それからも毎週、同じように殺処分対象犬の引き出しを続けてきましたが、まさに一難去ってまた一難。そんな日々の連続でした。生死をさまよう犬が愛護センターへ運ばれたと連絡を受け、駆けつける日々、徹夜で母犬のいない赤ん坊の世話をする日々、保護する処分対象犬が多すぎて、犬舎の収容に苦労した日々、時には愛護センターで感染症が蔓延し、保護する犬がすべて致死率の高いウイルスに感染していたこともあります。

どんなに頑張っても、最善を尽くし看病しても亡くなる子もいます。スタッフたちは、涙を流した日も多かったと思います。本音を言いますと、いつまで続けられるのかと不安に駆られることもありました。数千の命を預かるという重圧はとても重いものです。それは今でも変わりありません。



そんな中で、日々、励みになっているのは、いつも横にいるワンコたちの存在です。足がない子、病に侵されている子、両目が見えない子、人に捨てられた子、虐待されていた子…施設には辛い過去を持つワンコたちがいます。そのワンコたちはどんなに困難な状況であっても、前を向き、ひたむきに一生懸命生きています。その姿から、元気や勇気をもらいました。

また、保護した犬たちの中には乳飲み子や子犬、若く元気な犬たちもたくさんいます。その犬たちが譲渡センターで新しい家族のもとへ卒業していくことにも大きな喜びを感じます。保護した犬たちが生きる姿を通して、「命の尊さ」を教えてくれているように思います。



多い時期には毎週乳飲み子が引き取られる

今、この瞬間も処分の一歩手前で待っている子がいます。絶望の中で恐怖に震える命があります。彼らには罪はありません。人の身勝手によるものです。そして、助けることが出来るのも私たち人間だけです。一頭たりとも尊い命を処分機へ送ることは出来ません。それが皆さまから託された私たちの使命だと思います。今後も精一杯頑張ってまいります。

西山第3犬舎を増築中！

西山第1、第2に続いて第3犬舎の工事が進んでいます。冷暖房完備の部屋と個別ランがつながっています。完成すれば約300頭のワンコが暮らすことが出来ます。周囲は山に囲まれた広々した敷地で、気性難のワンコものびのび散歩することができます。

A photograph showing the early stages of construction for the third dog house. Large concrete blocks are laid out in a foundation, and some wooden formwork is visible.

A small, stylized cartoon illustration of a brown and white dog standing on its hind legs, wearing a red collar.

## ボランティアさん紹介

乳飲み子ボランティア

「ひげとしっぽ」広島県福山市  
岡田真由美さん



3年前から乳飲み子の引き出しが多い時期に、哺乳、飼育を手伝ってくださっているNPO法人「ひげとしっぽ」の岡田真由美さん。最近では産後1日目の目の見えない5頭の乳飲み子を育ててくださいり、今は2ヶ月になりました。10頭近い乳飲み子がいた時もあり、夜中も数時間おきに哺乳をしなければならないので大変な作業です。

ピースワンコから来た保護犬もいます。飼育放棄のワンコや障害があるワンコなどたくさんの犬のお世話をしてくれています。敷地内にはドッグランやトリミングスペースがあり、ペットホテルも運営されています。いつもありがとうございます！



乳飲み子用の保育器



## ピースワンコ診療所

2017年から関わってくださっている片山先生。  
週3日仙養シェルターや検疫、スコラシェルターを回って診察や治療、ワクチン接種などをしてくれます。

シェルターでは、動物病院で患者さんを診るのとは違って、防疫がメインになります。愛護センターから引き出された犬の中には、感染症の原因となる病原体を持った子もいます。例えば1匹の犬が感染症を発症した場合、その個体だけでなく犬舎単位で治療することもあります。病気の蔓延を未然に防ぐことがとても重要です。また飼育放棄で引き出されてくる犬や、劣悪な環境で飼われていたケースもあり、状態が悪い犬については詳しい検査や治療を行います。愛護センターからの引き出しがある日は、保護した犬にマイクロチップを埋め込み、フィラリア検査と混合ワクチン接種を行います。免疫が十分についていない仔犬はワクチンの必要回数が多く、狂犬病ワクチンと合わせるとかなりの仕事量になります。野犬や咬傷犬も多いため大変な作業ですが、吉山先生、古田先生と分担しながら対応しています。



吉山朋之先生



片山竜彦先生



古田喜美先生

## 活動報告

### ブレーメンパーク大譲渡会 2018

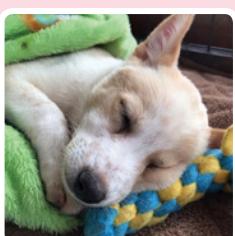
11月18日に、前年に続いて2回目となる大譲渡会イベント「ブレーメンパーク」が開催されました。35団体が参加し、5456名が来場。家族との出会いを求めて参加した277頭（犬96頭・猫181頭）の保護動物のうち、214頭（犬149頭・猫65頭）に前向きな相談やトライアルのお申し込みなどをいただきました。



ステージではセカイノオワリのメンバーによるトークセッションのほか、2017年のブレーメンパーク開催時に保護犬・猫をご家族に迎えてくださった方々のファミリートークセッションもありました。ピースワンコの卒業生「けだま（旧名：はかた）」くんとパパとママが登壇し、ブレーメンパークでけだまくんに決めた理由や家族になるまでの譲渡手続き、迎えてからの生活などについて話してくださいました。

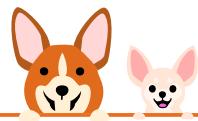


フォローしてね！Instagram



かわいいワンコの表情を発信中！  
peacewanko\_jinseki 他  
#各譲渡センターで検索してみてください！

# ワンだふるファミリーのホームページを リニューアルしました！



POINT.1 使いやすく、わかりやすく

シンプルなデザインに刷新し、直感的に支援したいワンコが選択できるようにしました。

POINT.2 あなたのワンコを探しやすく

子犬や老犬、障害や病気を持っているなど複数の条件から、あなたが支援したいワンコを探しやすくしました。

POINT.3 スマートフォンにも対応

URL : <https://peace-winds.org/pw/wfamily/>



## INTRODUCTION OF DOG

ファミリーを募集しているワンコたちをご紹介

このワンコたちは、動物愛護センターで殺処分寸前だったり、飼い主から捨てられたり、野犬だったりしたところを、ピースワンコ・ジャパンが保護したワンコです。

**ワンコを探す**

ワンコ数： 選択してください 特徴： 選択してください  
年齢：推定 選択してください 障害状態： 選択してください

検索する

ワンコ1頭が1ヶ月暮らすのに「10パウ以上」が必要です。 (1パウ=月々3,000円)  
※パウ数は月2回、更新を行っています。



アクセスはこちら！

ワンコが  
探しやすい

合計6ワンコ

月々の支援額 36,000円  
選択中 3ワンコ

パウを選択中のワンコ

ローマン  
推定1歳 / オス /  
ミックス  
パウの数8

パキシエル  
推定1歳 / メス /  
ミックス  
パウの数1

ハイド  
推定6歳 / オス /  
ミックス  
パウの数1

選んだワンコが  
わかりやすい



お申し込み



スマホにも  
対応！



お問い合わせ : [school@peace-winds.org](mailto:school@peace-winds.org)

PWJ本部 ☎ 0847-89-0885

詳しくはHPやFacebookページをご覧ください

HP : <https://peace-wanko.jp/>

Facebook : <https://www.facebook.com/peacewankoprodog/>



## 第4期 PRODOGスクール説明会を開催します

ピースワンコPRODOGスクールは、日本や海外での豊富な事例から、犬の生育、譲渡、トレーニングなどに精通した国内外からの講師陣によって、実践的なカリキュラムを通じて、犬の飼育に関する知識を基礎から専門的に学ぶ機関です。多彩なカリキュラムは犬学と動物福祉の先進地であるドイツのプロドッグスクールと提携した世界水準のプログラム構成となっています。また、4ヶ月のカリキュラムの終盤では本場ドイツのプロドッグスクールへ10日間短期留学で学ぶことが、第3期から必須プログラムとなりました。

スクールの様子はFacebookで詳しく紹介しています。ドイツやスウェーデンの経験豊かな講師から、本格的な最新の犬学とトレーニングを学ぶことができます。ぜひ、チェックしてみてください！



お問い合わせ : [school@peace-winds.org](mailto:school@peace-winds.org)

PWJ本部 ☎ 0847-89-0885

詳しくはHPやFacebookページをご覧ください

HP : <https://peace-wanko.jp/>

Facebook : <https://www.facebook.com/peacewankoprodog/>



ピースワンコ・ジャパン

〒720-1702 広島県神石郡神石高原町上豊松72-8 TEL/FAX : 0847-89-0039

<https://peace-wanko.jp/> ピースワンコ・ジャパン 検索



<発行> 特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

ピースワンコ・ジャパンプロジェクトは、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンが運営しています。

<https://peace-winds.org>



● 2019年ふるさと納税受付しています <https://www.furusato-tax.jp/gcf/259>

ふるさとチョイスGCF（ガバメントクラウドファンディング）年間8,000頭以上が殺されています～日本で殺処分される犬を“ゼロ”に～